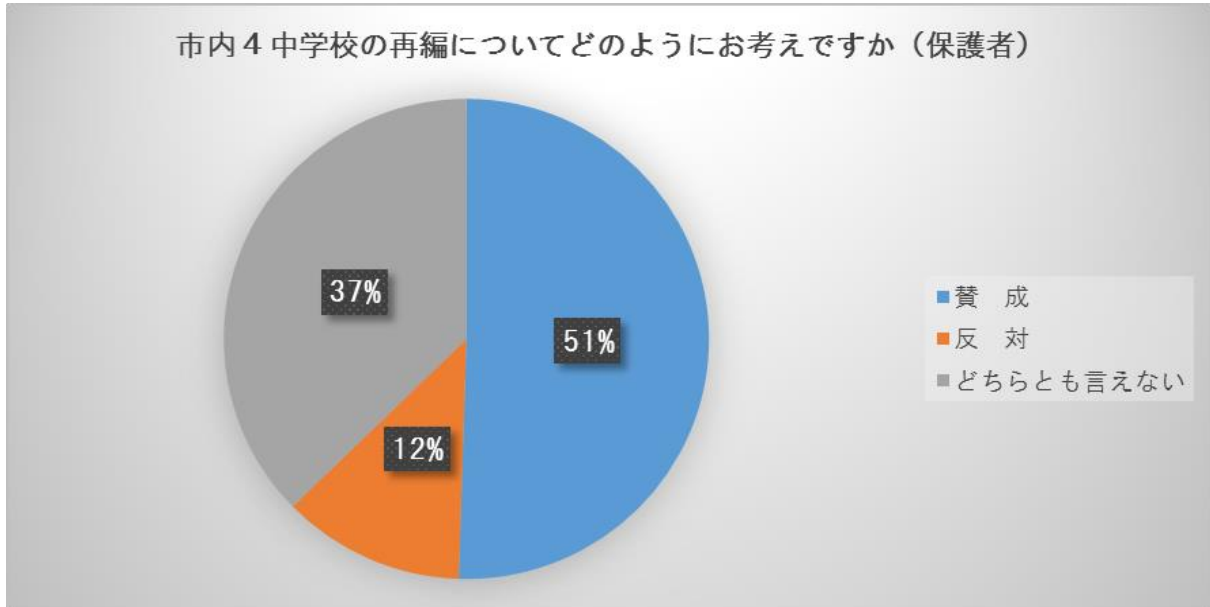


学校等再編アンケートの分析について（保護者）

◎学校等再編アンケートの分析実施について

設問 1. 「市内 4 中学校の再編についてどのようにお考えですか。」に対する考察

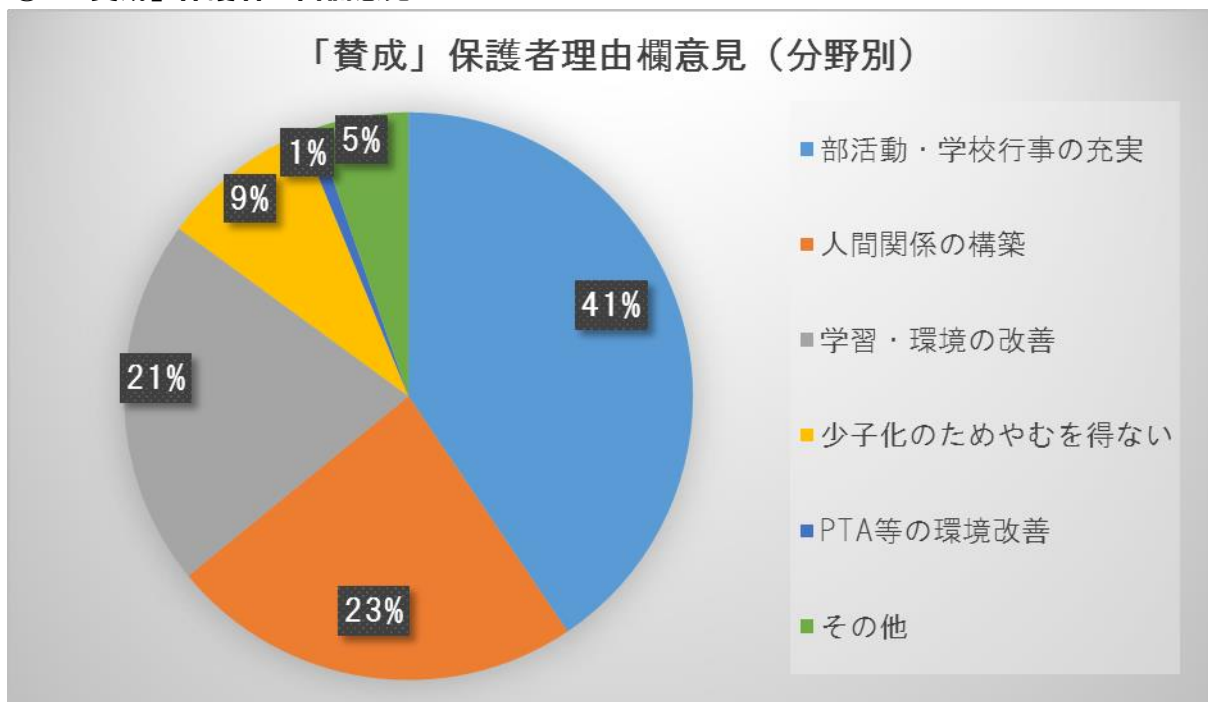


1,456 人中 984 人回答 回収率 67%	賛成	反対	どちらとも言えない
	497 人	120 人	367 人

「市内 4 中学校の再編についてどのようにお考えですか。」という質問に対し、保護者の方 984 人から回答をいただきました。その内訳は、賛成 497 人、反対 120 人、どちらとも言えない 367 人という結果でした。

今回、学校等再編アンケートの分析を行うにあたり、「賛成」、「反対」、「どちらとも言えない」とそれぞれ回答している保護者からの理由欄に記載されている意見に対する考察を行うとともに、学校別に整理しました。

① 「賛成」保護者理由欄意見について



「賛成」保護者理由欄意見 582 件	部活動・学校行事の充実	236 件
	人間関係の構築	137 件
	学習・環境の改善	122 件
	少子化のためやむを得ない	51 件
	PTA 等の環境改善	5 件
	その他	31 件

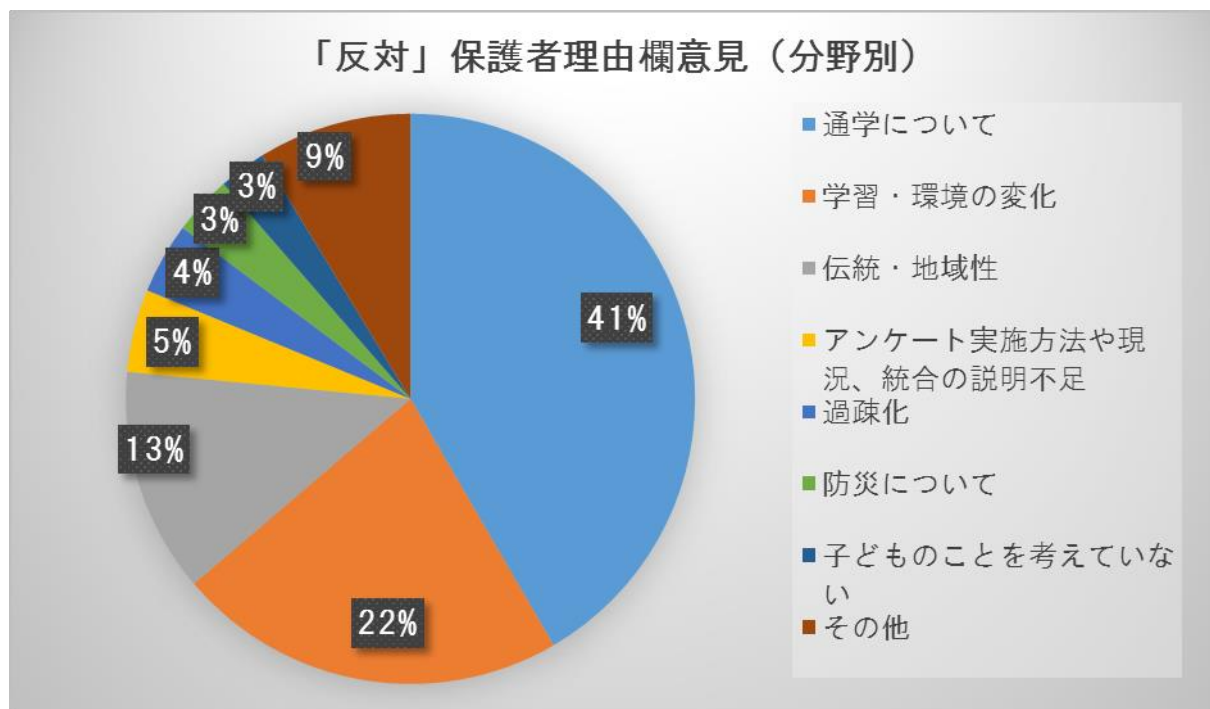
「賛成」と回答している保護者の理由欄に記載されている意見を取りまとめた結果、上記グラフ及び表のとおり、その総数は 582 件でした。そのうち「部活動・学校行事の充実」の内容を記載している割合が 236 件で全体の 41%、「人間関係の構築」の内容を記載している割合が 137 件で 23%、「学習・環境の改善」の内容を記載している割合が 122 件で 21%でした。

「部活動・学校行事の充実」、「人間関係の構築」、「学習・環境の改善」の 3 つを合わせると賛成意見全体の 85% を占め、ほとんどの保護者が統合による効果について、大きくこの 3 つを求めていることが伺えます。

「その他」意見の中には、通学手段を明確にし、協議した上で賛成するという意見や現在使用している校舎の老朽化、統合することによる学校予算増額、設備充実などの意見が挙げられていました。

賛成意見で挙げられている各項目は、今後もより具体的な方針等を示す必要があると考えられます。

② 「反対」保護者理由欄意見について



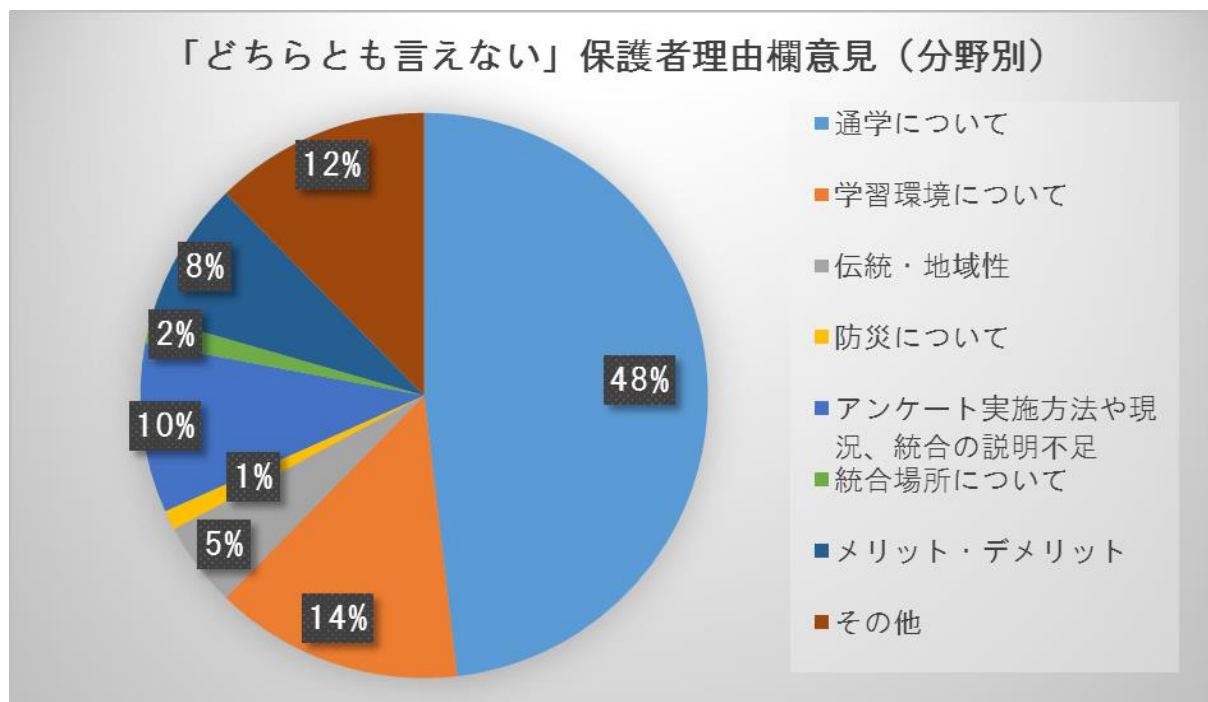
「反対」保護者理由欄意見 149 件	通学について	62 件
	学習・環境の変化	33 件
	伝統・地域性	19 件
	アンケート実施方法や現況・統合の説明不足	7 件
	過疎化	6 件
	防災について	5 件
	子どものことを考えていない	4 件
	その他	13 件

「反対」と回答している保護者の理由欄に記載されている意見を取りまとめた結果、上記グラフ及び表のとおり、その総数は 149 件でした。そのうち「通学について」の不安を記載している割合が 62 件で全体の 41%、「学習・環境の変化」への不安を記載している割合が 33 件で 22%、「伝統・地域性」がなくなる懸念を記載している割合が 19 件で 13%でした。

反対の主な理由として、「通学について」は、その方法や費用負担、また時間がかかるなどの意見が多数占めていました。また「学習・環境の変化」への不安については、少人数の方が細かな教育を受けることができることや大人数になることにより生徒間のトラブルを懸念する意見などが挙げられており、続く「伝統・地域性」については、各学校の特性がなくなる懸念や別項目の「過疎化」にも通じますが地域に学校がなくなることによる衰退を心配する意見が挙げられていました。

今後、統合を検討するにあたっては、通学や学習環境、また統合することによるメリット・デメリットなどを明確に示すことで「反対」と回答している保護者の方に対し、より丁寧な説明をしていくことが重要だと考えられます。

③ 「どちらとも言えない」保護者理由欄意見について



「どちらとも言えない」 保護者理由欄意見 268 件	通学について	129 件
	学習環境について	38 件
	伝統・地域性	13 件
	防災について	3 件
	アンケート実施方法や現況・統合の説明不足	26 件
	統合場所について	4 件
	メリット・デメリット	22 件
	その他	33 件

「どちらとも言えない」と回答している保護者からの理由欄に記載されている意見を取りまとめた結果、上記グラフ及び表に記載のとおり、その総数は 268 件でした。そのうち「通学について」の内容を記載している割合が 129 件で全体の 48%、「学習環境について」の内容を記載している割合が 38 件で 14%、「アンケート実施方法や現況、統合の説明不足」の内容を記載している割合が 26 件で 10%でした。

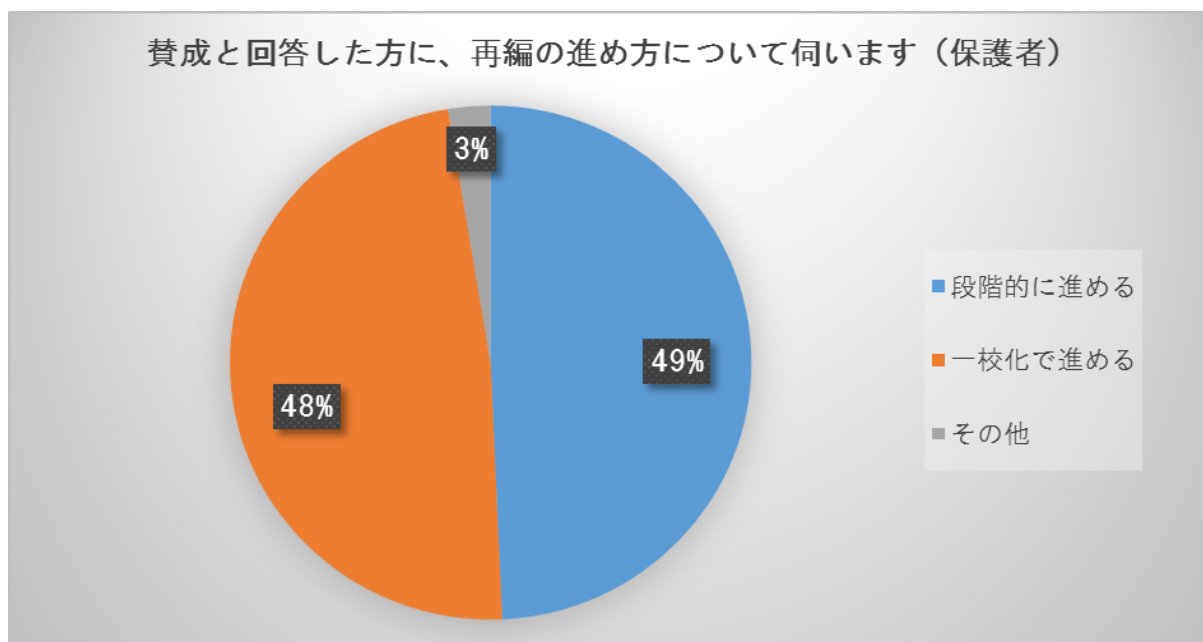
今回のアンケート結果がすべてではありませんが、「反対」保護者意見に対する対応と同様、通学や学習環境などの説明をより明確化することにより、「どちらとも言えない」と回答する保護者の割合がより少なくなると考えられます。併せて、アンケート実施方法や現況・統合自体に関する説明不足についての意見も多かったことから、通学や学習環境などの諸問題の対応のほかに、現況や統合をする理由についても再度、その説明方法など精査する必要があると考えられます。

◎学校別回答状況一覧

(カッコ内は人数)

学校名	回収率	賛成	反対	どちらとも言えない
稲梓小学校	69% (65/93)	51% (33)	17% (11)	32% (21)
稲生沢小学校	72% (134/186)	63% (84)	14% (19)	23% (31)
白浜小学校	54% (46/85)	28% (13)	24% (11)	48% (22)
浜崎小学校	54% (57/104)	35% (20)	21% (12)	44% (25)
下田小学校	67% (171/255)	47% (80)	9% (16)	44% (75)
大賀茂小学校	68% (46/67)	48% (22)	11% (5)	41% (19)
朝日小学校	55% (65/117)	52% (34)	9% (6)	39% (25)
小学校 計	64% (584/907)	49% (286)	14% (80)	37% (218)
稲梓中学校	94% (49/52)	59% (29)	12% (6)	29% (14)
稲生沢中学校	83% (108/130)	62% (67)	9% (10)	29% (31)
下田東中学校	68% (82/120)	43% (35)	11% (9)	46% (38)
下田中学校	65% (161/247)	50% (80)	9% (15)	41% (66)
中学校 計	72% (400/549)	53% (211)	10% (40)	37% (149)
合計	67% (984/1,456)	51% (497)	12% (120)	37% (367)

設問2. 「賛成と回答した方に、再編の進め方について伺います。」に対する考察

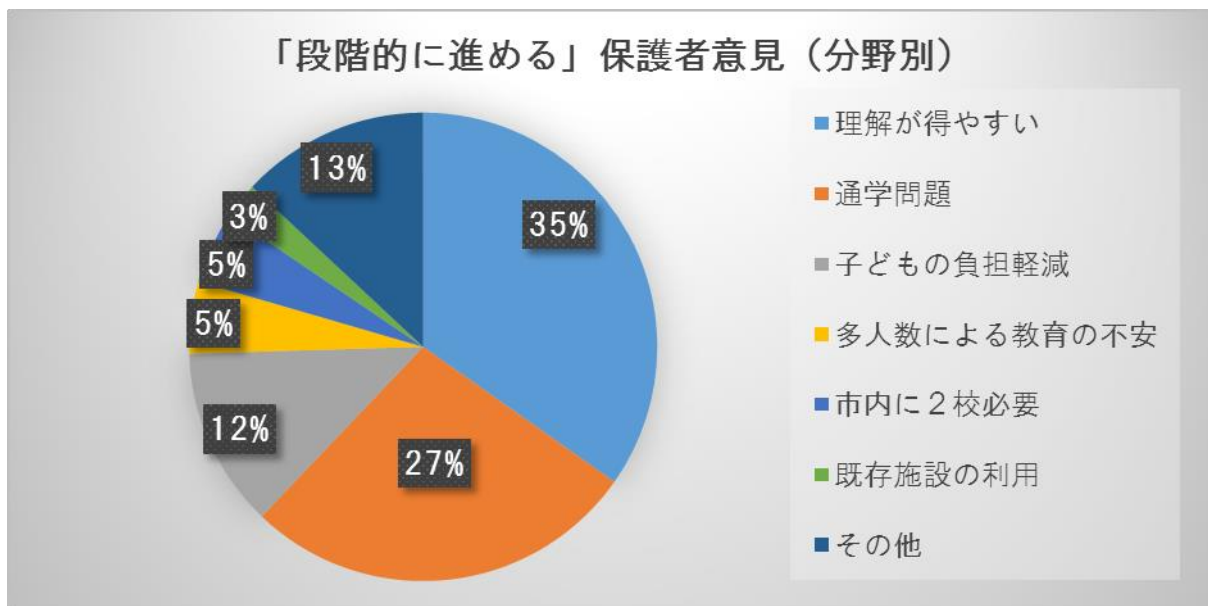


賛成回答数	段階的に進める	一校化で進める	その他
497人	245人	239人	13人

「賛成と回答した方に、再編の進め方について伺います。」という質問の結果、保護者の方497人の回答のうち、段階的に進める245人、一校化で進める239人、その他13人という結果でした。

今回、学校等再編アンケートの分析を行うにあたり、「段階的に進める」、「一校化で進める」、「その他」とそれぞれ回答している保護者からの理由欄に記載されている意見に対する考察を行うとともに、学校別に整理しました。

① 「段階的に進める」保護者意見について

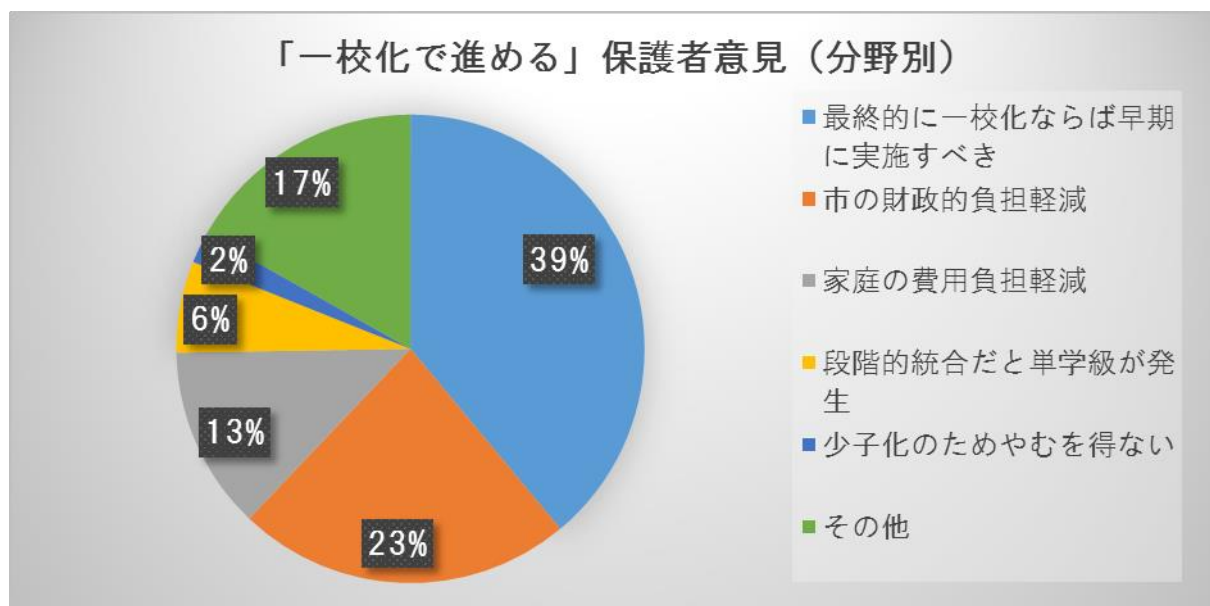


「段階的に進める」 保護者意見 161件	理解が得やすい	56件
	通学問題	44件
	子どもの負担軽減	20件
	多人数による教育の不安	8件
	市内に2校必要	8件
	既存施設の利用	4件
	その他	21件

「段階的に進める」と回答している保護者からの理由欄に記載されている意見を取りまとめた結果、上記グラフ及び表に記載のとおり、その総数は161件でした。そのうち「理解が得やすい」と記載している割合が56件で全体の35%、「通学問題」の内容を記載している割合が44件で27%、「子どもの負担軽減」の内容を記載している割合が20件で12%でした。

「理解を得やすい」と回答している主な意見として、過去の統合問題から地域や保護者からいきなり一校化するよりは、段階をおって統合すべきであるという意見などが挙げられていました。「通学問題」については、段階的よりも一校化となった時の通学費用がよりかかることやその安全性の確保についての意見が多く、続く「子どもの負担軽減」では、一校化により、段階的に統合した場合よりも多くの生徒数となるため、子ども自身がその環境に適応できるか不安であるという意見などが挙げられていました。

② 「一校化で進める」保護者意見について



「一校化で進める」 保護者意見 190 件	最終的に一校化ならば早期に実施すべき	74 件
	市の財政的負担軽減	44 件
	家庭の費用負担軽減	24 件
	段階的統合だと単学級が発生	12 件
	少子化のためやむを得ない	4 件
	その他	32 件

「一校化で進める」と回答している保護者からの理由欄に記載されている意見を取りまとめた結果、上記グラフ及び表に記載のとおり、その総数は 190 件でした。そのうち「最終的に一校化ならば早期に実施すべき」と記載している割合が 74 件で全体の 39%、「市の財政的負担軽減」の内容を記載している割合が 44 件で 23%、「家庭の費用負担軽減」の内容を記載している割合が 24 件で 13%でした。

「最終的に一校化ならば早期に実施すべき」と回答している主な意見として、市として最終的に一校化でいくことを考えているならば、初めから一校化で進めた方が良いという意見などが挙げられていました。「市の財政的負担軽減」の意見では、一校化の方が無駄がなく、施設の充実が図れるなどの意見が挙げられていました。また「家庭の費用負担軽減」の意見としては、段階的だと何度も制服やジャージ等を購入しなければならないことや使い回しができないことなどが挙げられていました。次の「段階的統合だと単学級が発生」の意見として、統合したとしてもすぐに単学級が発生し、統合する意味がなく、その労力を考慮すると当初から一校化が望ましいという意見もありました。

◎学校別回答状況一覧

(カッコ内は人数)

学校名	賛成回答数	段階的	一校化	その他
稲梓小学校	33	42% (14)	49% (16)	9% (3)
稲生沢小学校	84	52% (44)	47% (39)	1% (1)
白浜小学校	13	38% (5)	54% (7)	8% (1)
浜崎小学校	20	35% (7)	65% (13)	0% (0)
下田小学校	80	55% (44)	45% (36)	0% (0)
大賀茂小学校	22	50% (11)	50% (11)	0% (0)
朝日小学校	34	47% (16)	44% (15)	9% (3)
小学校 計	286	49% (141)	48% (137)	3% (8)
稲梓中学校	29	41% (12)	59% (17)	0% (0)
稲生沢中学校	67	55% (37)	45% (30)	0% (0)
下田東中学校	35	43% (15)	54% (19)	3% (1)
下田中学校	80	50% (40)	45% (36)	5% (4)
中学校 計	211	49% (104)	48% (102)	3% (5)
合計	497	49% (245)	48% (239)	3% (13)